会員各位

公益社団法人東京都柔道整復師会
会 長 瀧澤 一裕

「TJK」からの怪文書について

拝啓

日頃、会務にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、4月中旬頃に「TJK」を名乗る発行元・発行責任者の明記が無い「怪文書」が多数の会員のお手元に届いていることと思われています。

この投函物について、事務局、執行部、そして複数の支部長へ会員からの問い合わせが殺到しております。

つきましては、会員の皆様が抱える不安や疑問を取り除くために、「TJK」が発信した内容項目について正確な情報（回答）を共有いたしますので、ご参考にしていただければ幸いですと存じご通知いたします。

敬具

【速報 2】『「都柔整・定款施行細則の改正」理事会決定』との記事について定款施行細則では以下の通りとなっています。

第 2 条 理事会は総会に提出する役員選任議案を策定するため、総会に先立って役員選挙を実施することができる。～

4. 次の次号のいずれか該当する者は、役員に立候補することはできない。

今回の定款施行細則の変更については、

① 選挙前より、「同じ会費を払っているのに、立候補できないというのはおかしい。」という趣旨の申し出が会員から多数上がっていた。

⇒理事会として当該制限規定の妥当性を検討したところ、公益社団法人を規制する、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律 5 条 17 号イには、「公益法人においては、法人の目的に照らし、不当に差別的な取り扱いをする条件その他の不当な条件を付していないものでなければなりません。」と規定されているため、当該制限規定は不当ではないかとの議論がなされました。

② 監督官庁の東京都にも当該制限規定の妥当性を確認したところ、「選挙は会運営の一環であり官庁が関与するところではないが、制限が無いほうがより公平である。」とのアドバイスをいただきました。

⇒理事会にて調査を進めたところ、当該制限規定自体、平成 26 年 8 月の理事会決定によって定められたことが判明したものの、規定の成立経緯や妥当性・合理性を十分確認する事はできませんでしたので、理事会にて改廃をさせていただきました。

定款細則 第 2 条 4 項 1 号は